



ふくもっちゃんの部屋 ～本の背中～

今回は本の“背中”のおはなし。背中に注目してみるとなによりラベルが貼ってあるようで……

図書館の本は多くの人が利用するため、
すぐに本を探せるように同じ内容のグループに分けて並べています。
このグループ分けに必要な情報が、本の背中のラベルには書かれているのです。

7 7 2 6
フクモ

→図書の主題を数字であらわしたもの
→本の著者か書名の頭文字

ラベルの数字（一部英字）は「日本十進分類法」によるものです。
「日本十進分類法」は日本の図書館で広く使われている図書の分類法です。
図書の主題を **0～9** の数字を用いて細分化し、分類しています。

例 2 8 1 →日本の伝記
5 9 6 →食品・料理
7 2 6 →漫画・挿絵・童画 などなど…

ラベルの決め方や表示のしかたは図書館によって様々です。
福島市立図書館では、郷土資料に「**K**」を参考資料には「**R**」を用いています。



背中に貼ってあるラベルは、
本の住所のようなものなんだね！

図書館カレンダー 7 月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

図書館カレンダー 8 月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

印は休館日

2022 年 7 月 1 日発行

編集：福島市西口ライブラリー
〒960-8053
福島市三河南町 1-20
TEL024-525-4023
発行：福島市立図書館
〒960-8018
福島市松木町 1-1
TEL024-531-6551
ホームページ：
<http://www.city.fukushima.fukushima.jp/tosyo-kanri/kanko/toshokan/>
ふくしまウェブ携帯版アドレス
<http://www.city.fukushima.fukushima.jp/mobile>



福島市西口ライブラリー広報

西口ライブ発信

毎月 24 日はふくしま読書の日です。本に親しみましょう！

2022 年
7・8 月号

新着本案内



『教養としての数学「I・A」』

永野 裕之 著

NHK出版(410-ナガノ)

統計を使って、情報を見極める。二次関数で、商品の売り上げを予測する。現代社会を生き抜くために、数学を学んで論理的思考力を身につけよう。

数学から遠ざかってしまった人も無理なく学べる一冊です。



『日本の合戦解剖図鑑』

本郷 和人 監修

かみゆ歴史編集部 編著

エクスナレッジ(210. 1-ニホン)

天下分け目の関ヶ原の戦い、福島県に関わる会津戦争…日本史上に残る激戦の裏側とは。

イラストや年表でイメージしやすく、また城の歴史や武器・防具までも深堀し、合戦の全てが丸わかりです！



『西洋の名建築がわかる七つの鑑賞術』

中島 智章 著／エクスナレッジ(523-ナカシ)

本書では材料、技術、インテリアなど七つの視点から西洋建築の歴史や構造を詳しく説明します。古代ローマ建築部材は、対戦国に戦利品として持ち去られ、現存するピサのサンタ・マリア・アッスンタ聖堂などに使用された、等エピソードも満載です。



『「できる」と「できない」の間の人』

樋口 直美 著

晶文社(916-ヒグチ)

文筆家の著者は50歳でレビー小体病と診断された。自律神経に不調をきたし、時間の感覚や嗅覚が失われ、幻視や錯視におそわれる…それでも書くことはできた！

コロナ禍の影響も交えながら、病や社会と向き合う日々を綴ったエッセイです。



『春夏秋冬 恋よこい』

林 望 著

春陽堂書店(910. 2-ハヤシ)

雅で切ない恋の話から、意地の張り合いで間抜けなことになった失敗談まで、古典文学から四季折々の恋の話をピックアップ。現代の視点も織り交ぜて解説します。昔の人が少し身近に感じられるかもしれません。

新着本



西口ライブラリーに新しく入った本を一部紹介します。

古代ローマの日常生活 フリップ・マティザック 著 岡本 千晶 訳／原書房(232－マティ)	さっきまでは薔薇だったぼく 最果 タヒ 著／小学館(911. 5－サイハ)
図説上杉謙信 今福 匡 著／戎光祥出版(289－ウエス)	タダキ君、勉強してる？ 伊集院 静 著／集英社(914. 6－イジュ)
少年法がよくわかる本 廣瀬 健二 著／秀和システム(327－ヒロセ)	白馬八方尾根殺人事件 梓 林太郎 著／光文社(F－アズサ)
図解わかる労働基準法 2022-2023 年版 荘司 芳樹 著／新星出版社(366－ショウ－22)	夢伝い 宇佐美 まこと 著／集英社(F－ウサミ)
50代からの骨粗鬆症対策の献立 オレンジページ(493－ゴジユ)	さよならに反する現象 乙一 著／KADOKAWA(F－オツイ)
イラストでわかる建築施工 井上 国博 ほか 著 菊地 至 イラスト／ナツメ社(525－イラス)	爆弾 呉 勝浩 著／講談社(F－ゴカツ)
きれいに作れる帽子 赤峰 清香 著／主婦と生活社(593－アカミ)	スタッフロール 深緑 野分 著／文藝春秋(F－フカミ)
パタンナー金子俊雄のカジュアルなメンズ服 金子 俊雄 著／日本ヴォーグ社(593－カネコ)	君たちはしかし再び来い 山下 澄人 著／文藝春秋(F－ヤマシ)
エダマメ 藤田 智 著／NHK 出版(626－フジタ)	大人になる時 草上 仁 著 日下 三蔵 編／竹書房(PF－クサカ)
誰でも使える！囲碁手筋の基本と実践 水間 俊文 著／マイナビ出版(795－ミズマ)	スーサイドホーム 柴田 勝家 著／二見書房(PF－シバタ)

作家と福袋プロポーズ

文章を書くことを生業としている文豪たちは、どのような言葉で結婚を申し込んだのでしょうか？ 芥川龍之介は、のちの妻となる塚本文に手紙で、貰いたい理由は「文ちゃんが好きだからだ」とストレートな表現でプロポーズしています。また、龍之介の親友であり文の叔父にあたる山本喜誉司にも彼女を頂きたいと伝えるなど、結婚の意思を強く表しています。

その後、二人は婚約を果たし、大正七年に結婚しています。龍之介は八歳年下の妻を「お菓子なら頭から食べてしまいたい」くらいに溺愛していたようで、手紙の端々に文ちゃん愛の強さが感じられました。

参考文献:『文豪たちのラブレター』 別冊宝島社編集部 編／宝島社 (912. 0－ブンゴ)

ライブラリアンの展示★名作案内



こんな芸術的な武将が実在していたなんて！？

『古田織部』
諏訪 勝則 著
中央公論新社(S791－フルタ)

戦国の世に、特異な芸術センスでのし上がった武将がいた。名を古田織部。茶の湯を通して権力者たちと繋がりを持ち、千利休の後継者と目されていたという。武人と芸術家、二つの視点から彼の生涯をひも解く。



祝・全国新酒鑑評会9連覇！
福島のおいしい日本酒を飲みましょう

『いつも、日本酒のことばかり。』
山内 聖子 著
イースト・プレス(588－ヤマウ)

居酒屋で働いたときに飲んだことがきっかけで、日本酒の虜になった著者。種類や買い方、おすすめのつまみといった基礎知識から、酒造の工程・歴史までその魅力を語ります。日本酒の深く広い世界をのぞいてみませんか。



あなたもお風呂が好きになること間違いなしです！

『美しくなる入浴術』

漆畑 修 著
メディカルトリビューン(498－ウルシ)

温泉療法医が、お風呂の安眠効果や疲労回復、老化・がん予防といったさまざまな効用を紹介。正しい入浴術は、心も体もキレイにしてくれます。映画や絵画に登場するお風呂、温泉情報などトリビアも満載です。



お腹が空いている時に読まないでください！

『おやつが好き』
坂木 司 著
文藝春秋(914. 6－サカキ)

フルーツサンドで初夏を感じ、無心でサブレをつまむ…。小説家が綴るおやつエッセイ。文章のプロならではの、「食」の描写は、とにかく美味しそうで食べたくなります！ 巻末にはお菓子を題材にした小説が、2編収録されています。



写真口絵の美しさには、思わずため息が漏れます

『素晴らしき洞窟探検の世界』
吉田 勝次 著
筑摩書房(S454－ヨシダ)

下り坂の細い通路に全身がハマったり、落石が直撃して骨折したり。洞窟探検は危険に満ちていますが、その先には誰も見たことのない美しい世界が待っています。

未踏の地を求めて世界中を飛び回る探検家が、洞窟探検の世界を語りつくします。